

(一社)「世界文化遺産」地域連携会議 発足総会

- 1 開会ご挨拶
- 2 出席者ならびに新メンバーのご紹介
- 3 (議案1)平成29年度「世界文化遺産」地域連携会議の活動と決算
- 4 (議案2)定款等の確認
- 5 (議案3)当面の活動方針と平成30年度の活動
- 6 (議案4)平成30年度予算
- 7 意見・情報交換

(交流会:三彩の間17:40ー)

平成30年8月6日 16:00ー17:30
霞山会館

出席者 (8月2日現在:敬称略)

世界遺産名等	氏名	所属	要望	総会	交流会	H29役職等
	松浦晃一郎	前・ユネスコ事務局長	—	○	×	顧問
文化庁	小林万里子	記念物課長	—	○		来賓
	三輪 善英	政策課企画調整官(オリパラ東京大会文化プログラム等担当)	—	○		来賓
観光庁	竹原 勇一	欧米豪室長	—	○		来賓
	山田亜紀子	観光資源活用推進室長	—	○		来賓
平泉	青木 幸保	平泉町長	○	×	×	幹事
富岡	榎本 義法	富岡市長	○	○	○	幹事
富士山	渡辺喜久男	富士河口湖町長	○	○	○	幹事
明治日本	小野登志子	伊豆の国市長	○	○	○	幹事
白川郷	成原 茂	白川村長	○	○	×	幹事
古都京都	門川 大作	京都市長	○	○	○	会長
法隆寺	中西 和夫	斑鳩町長	○	○	○	副会長
石見銀山	楫野 弘和	大田市長	○	○	○	幹事
日光	江藤 隆	日光市観光部長	×	○	○	代理
富岡・絹産業遺産	徳江 基行	伊勢崎市教育長	×	○	×	〃
	御供 英宏	藤岡市教育部長	×	○	×	〃
	大小原敏江	下仁田町教育課長	×	○	×	〃
国立西洋美術館	高柳 正治	東京都台東区 国際・都市交流推進室長	×	○	×	〃
五箇山	米田 聡	南砺市ブランド戦略部長	×	○	○	〃
富士山	田中 稔久	静岡市文化財課長補佐	×	○	×	〃
	杉山 善彦	裾野市教育部長	×	○	×	〃
	深谷 一彦	富士宮市富士山世界遺産課長	×	○	×	〃
京都	木下健太郎	宇治市都市整備部長	○	○	○	〃
奈良	岡崎 利彦	奈良市観光経済部次長	○	○	×	〃
紀伊山地	古久保宏幸	田辺市観光振興課長	○	○	×	〃
姫路城	和田 達也	姫路市観光交流局長	○	○	×	〃
原爆ドーム	岩本 章	広島市東京事務所主査	×	○	×	〃
沖ノ島	高倉 庸輔	宗像市世界遺産課長	×	○	×	〃
明治日本の産業革命遺産	佐々木育男	釜石市世界遺産課長	×	○	×	〃
	阿武 宏	萩市世界遺産室長	×	○	×	〃
	武藤 英海	佐賀市企画調整部長	×	○	×	〃

	湯之上寛樹	鹿児島市世界遺産推進室長	×	○	×	代理
	渡辺 清英	長崎市世界遺産室長	×	○	×	〃
潜伏キリシタン	〃	〃	—	—	—	
琉球王国	渡久地一浩	沖縄県東京事務所長	×	○	×	
東京	有川雄二郎	SAP代表	—	○	○	幹事・お世話役
東京	後藤 治	工学院大学理事長・総合研究所教授	—	×	○	幹事
東京	藤本 貴也	全国街道交流会議代表理事	—	○	○	幹事
東京	寺田 昭一	PHP研究所公シニア・コンサルタント	—	○	○	監事
東京	糸永 正之	アスカ大フェアパノクス校特別顧問	○	○	○	メンバー
兵庫	井戸 智樹	歴史街道推進協議会	○	○	○	お世話役
島根	大國 晴雄	大田市前・教育長	—	○	○	メンバー
東京	大山 耕介	月刊「歴史街道」編集長	—	○	○	〃
栃木	岡井 健	NPO日光門前まちづくり理事長	—	○	○	〃
群馬	熊倉 浩靖	高崎商科大学特任教授	—	○	○	お世話役
東京	小六 克介	世界遺産クラブ代表	—	○	○	メンバー
東京	島川 崇	東洋大学教授	—	○	○	お世話役
東京	城之内ミサ	音楽家・ユネスコ平和芸術家	—	○	×	メンバー
京都	高橋 晴久	京都新聞東京支社	—	○	○	代理
東京	須藤 元	ジェイキャスト顧問	—	○	○	メンバー
東京	高橋 史郎	早大国際教養学部事務長	—	○	○	〃
東京	竹田 亨	日本航空地域活性推進部長	—	○	○	〃
東京	田中 恭一	中央共同募金シニアアドバイザー	—	○	○	〃
栃木	長南 哲夫	日光世界遺産の会	—	○	○	〃
東京	永井 恵一	東洋大学国際観光学部研究員	—	○	○	〃
東京	中野 秀俊	旅行読売 営業企画部	—	○	△	〃
兵庫	中山栄一郎	歴史と出会えるまちづくり船場城西の会	—	○	○	〃
京都	滑田 教夫	京都旅企画代表	—	○	○	〃
島根	福井 善朗	山陰インバウンド機構代表理事	—	○	×	〃
東京	野々村邦夫	日本地図センター理事長	—	○	○	〃
東京	星 幸男	ANA 総合研究所観光グループ主任研究員	—	○	×	〃
兵庫	皆川 広一	神戸新聞事業社	—	○	○	〃

東京	渡邊 智彦	NPO遊悠舎京すずめ観光文化研究部長	—	○	○	メンバー
東京	稲垣 優	朝日カルチャーセンター 朝日 JTB・交流文化塾	—	○	○	ゲスト
兵庫	唐牛 真吾	神戸新聞事業社姫路支社長	—	○	○	〃
奈良	廣岡 郁雄	歴史街道推進協議会総務部長	○	○	○	〃
観光庁	川端 勇平	観光資源課主査	×	○		随 行
平泉町	及川 司	世界遺産推進室長	○	×	×	〃
富岡市	大塚 浩之	富岡製糸場戦略課長	○	○	○	〃
伊勢崎市	細井 篤	企画部副部長	×	○	×	〃
日光市	佐藤 正人 山本 浩貴	観光交流課長 観光交流課主任	×	○ ○	○ ○	〃
富士河口湖町	山中 一敏	企画課長補佐	○	○	○	〃
富士宮市	内藤 武正	富士山世界遺産課主幹 兼企画係長	×	○	×	〃
伊豆の国市	秋山 貴宏 真野さつき	世界遺産室長 秘書室長	○ ○	○ ○	×	〃 〃
京都市	西山 真司 中川 慶太 藪田 哲司	文化財担当部長 文化財保護課長 観光おもてなし課長	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	〃 〃 〃
斑鳩町	佐谷 容子	まちづくり政策課長	○	○	○	〃
姫路市	柳田 栄作	観光交流部長	×	○	○	〃
大田市	遠藤 浩巳	石見銀山課長	○	○	○	〃
沖縄県	中村 旦	沖縄県観光振興課	×	○	×	〃

新メンバーのご紹介(平成29年度総会以降)

1 市区町村長

福田健次(福岡県中間市長)

秀島敏行(佐賀県佐賀市長)

2 民間

大山耕介(月刊「歴史街道」編集長)

竹田 亨(日本航空地域活性化推進部長)

宮澤 光(NPO世界遺産アカデミー主任研究員)

(議案1)平成29年度「世界文化遺産」地域連携会議の活動と決算

1 交流と意見・情報交換

(1) メールングリストによる日常的情報交換

山内管理人(今帰仁グスクを学ぶ会)を中心に継続中

通算の利用回数は約700回

(2) 総会・交流会(8月1日:東京)



(3) 第4回「世界遺産サミット」(11月9-11日:大田市)



① 本会議 (鳥根県立男女共同参画センター「あすてらす」)

テーマ：世界遺産のまちづくりと連携の深化

開会地・来賓挨拶 (楫野大田市長・溝口鳥根県知事・鶴保観光立国調査会顧問ほか)

分科会発表

首長会議

トークセッション (高島礼子・久保美智代)

② 分科会

第1 西日本における世界遺産連携 (石見銀山 世界遺産センター)

阪谷幸春 (広島市観光政策部長) 永田英嗣 (廿日市市環境産業部長)

杉山寛校 (萩市まちじゅう博物館推進部長) 尾田英夫 (大田市産業振興部長)

石川博樹 (姫路市シティプロモーション推進課長) C: 大國晴雄 (大田市教育長)

第2分科会「世界遺産のまちづくり」 (大森町並み交流センター)

岡井健 (NPO日光門前まちづくり理事長) 三島敏樹 (白川郷田島氏養蚕展示館館長)

多田稔子 (田辺市熊野ツーリズムビューロー会長) 仲野義文 (石見銀山資料館館長)

C: 久保美智代 (旅する世界遺産研究者: 京都)

第3分科会 「世界遺産の魅力を伝える (語り部・ガイド組織の連携)」

(オペラハウス大森座)

桐野耕一 (長崎コンプラドール代表) 吉原淳一 (斑鳩の里・観光ボランティアの会会長)

佐滝剛弘 (特定非営利法人・産業観光学習館専務理事) 安立聖 (石見銀山ガイドの会会長)

C: 井戸智樹 (世界文化遺産地域連携会議: 大阪)

2 要望活動(8月1日)

時間	訪問先	主な要望内容
13:00 -13:10	総務省 高市早苗 大臣	・世界遺産宝くじ ・各地からの要望
13:30 -14:10	世界遺産議員連盟と の意見交換 馬淵澄夫 会長 河村建夫 顧問 松本剛明 顧問ほか	・世界遺産特別法 ・世界遺産宝くじ ・世界遺産×新幹線による 欧米インバウンド ・各地からの要望
14:30 -14:45	自由民主党 二階俊博 幹事長	・世界遺産特別法 ・各地からの要望
15:00 -15:15	国土交通省 森 昌文 技監	・世界遺産を活かしたまちづくり ・文化財防災・減災への支援 ・沖縄国営公園における周辺遺産紹介 ・各地からの要望
15:30 -15:40	文化庁 中岡 司 次長	・世界遺産の保全活用 ・世界遺産活性化予算関係 ・各地からの要望



3 情報発信

- (1) HP (11言語) www.worldheritagejpn.com/
- (2) パンフレット (4言語: 各地の海外事業での相互配布用)
- (3) 各メディア、記者クラブ・地方紙東京支社などへの対応
- (4) アートアクアリウム城2017 (二条城: 10月25-12月10日)



⇒入場者 約22万人

⇒二条城保全に約2300万円、会に約255万円の寄付

(5) シンポジウム「世界遺産・紀伊山地の霊場と参詣道 の神髄に迫る」

目的: 東京での世界遺産シンポ第一弾。「仏教・神道・修験道の3つの霊場が共存し、それが古道によって結ばれ、現在も活動中」であることが、紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産たる所以である。3県・20数市町村・鉄道4社(JR東海・JR西日本・南海・近鉄)などによる構成資産個々の情報発信だけではなく、「全体としての登録意義」の発信機会を作る。H30以降の事業では、内容を東京五輪に向け10言語のHP化する。

日時: 平成29年12月9日

会場: 東京・ベルサール九段

出演: 高野: 高野山大学名誉教授/村上保壽氏

熊野: 本宮大社宮司/九鬼家隆氏

吉野: 金峯山寺長騰/田中利典氏 ほか

※ 1つでも多くの遺産とのコラボ事業実現が今後の課題!

4 プロジェクト・チーム(PT)の活動(紀伊山地の霊場と参詣道)

① 外国語公式ガイドブック・MAP・パンフレットを3点セットで整備

「中辺路・熊野三山」「小辺路・高野山」「大辺路」「吉野」「伊勢路」を順次作成(英語:H29ー)

→全域の公式ガイドブック/MAP完成(英語:H32)

→上記を翻訳しスペイン語・仏語・独語版完成(H33)

② 英語案内看板、不足箇所の解消

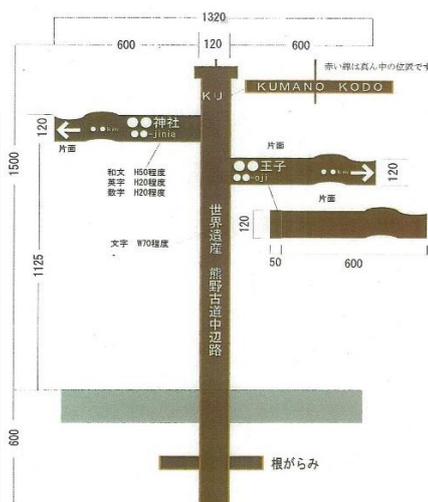
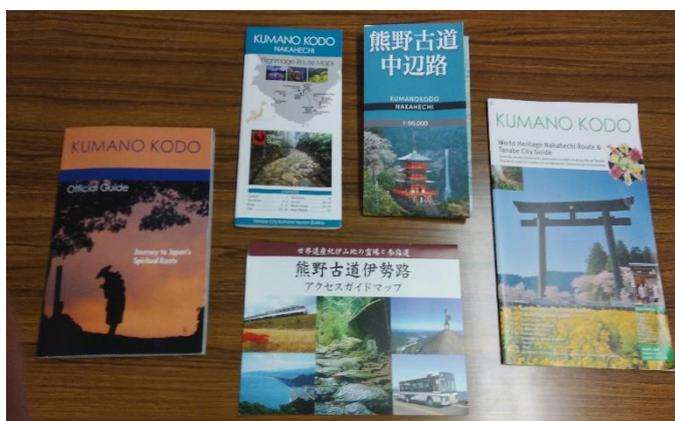
田辺市内の追加登録遺産関係地(H29)

「中辺路(田辺市域外)」「小辺路」「大辺路」「伊勢路」における不足箇所調査(H30)

→H31年度より順次整備

③ シンポジウム (3-(5)参照)

※文化庁「世界遺産活性化」予算を活用



5 平成29年度決算報告

(1) 収入の部(単位・円)

項目	平成29年度 予算額	平成29年度 決算額	平成28年度 決算額	備考
① 市町村長会費	1,130,000	1,140,000	1,110,000	一部予算措置ができなかった市町村有
② 事業収入	10,720,000	9,825,313	0	「世界遺産活性化」事業
③ 交流会	240,000	330,000	294,000	「交流会」支出に対応
④ 寄付金	0	2,549,285	0	「アートアクアリウム城」実行委
⑤ 利息	0	20	24	
⑥ 繰越金	2,812,645	2,812,645	2,881,027	
収入計	14,902,645	16,657,263	4,285,051	

(2) 支出の部

項目	平成29年度予 算額	平成29年度 決算額	平成28年決 算額	備考
1 要望活動費	200,000	182,606	149,504	冊子作成、ハイヤー代等
2 会議費	650,000	884,900		
・総会	(350,000)	(362,648)	695,544	収入の部①に対応
・交流会	(300,000)	(445,832)	(363,008)	収入の部③に対応
・その他	(0)	(76,420)	(324,212)	(PT運営費)
			(8,324)	収入の部④⑥に対応
3 イベント費	200,000	217,601	137,660	(世界遺産サミット)
4 広報費	300,000	171,994	35,456	収入の部①④⑥に対応
・HP		(7,642)	(35,456)	(HP改訂・プロバイダ料)
・その他		(164,352)	(0)	(シンポジウムほか)
5 事業推進費 (紙媒体制作)	10,720,000	9,825,313	0	収入の部②に対応
(紙媒体制作)	(4,500,000)	(5,899,800)		
(標識整備)	(3,500,000)	(1,446,120)		
(シンポ)	(2,720,000)	(2,479,393)		
6 調査研究費	20,000	9,150	0	収入の部①④⑥に対応
7 旅費交通費	500,000	523,436	406,038	同
8 通信費	40,000	42,650	27,764	収入の部①に対応

9消耗品費	20,000	76,076	20,440	同(封筒印刷・デジカメ等)
10事務雑費	180,000	12,960	0	法人化関係費は30年度に
支出合計	12,830,000	11,946,686	1,472,406	
次年度繰越	2,072,645	4,710,577	2,812,645	
総計	14,902,645	16,657,263	4,285,051	

(3) 預貯金等(円)

(1) みずほ銀行大阪中央支店(平成30年4月10日) 4 6 9 8 4 4 3 円

(2) 現金 1 2 1 3 4 円

預貯金計 4 7 1 0 5 7 7 円

**上記「世界文化遺産」連携会議の平成29年度
決算およびその領収書類につき監査した結果、
それが適正に処理されていることを認めます。**

(監事)

(議案2)定款等の確認

一般社団法人「世界文化遺産」地域連携会議 定款 (赤字:平成29年総会以降の変更箇所)

第1章 総則

第1条 (名称)

当法人は、一般社団法人「世界文化遺産」地域連携会議と称する。

第2条 (主たる事務所)

当法人は、主たる事務所を大阪市北区に置く。

第3条 (目的)

当法人は、日本国内の「世界文化遺産」に関係する市町村および特別区と、それに関連する専門家や市民リーダーが連携し、世界文化遺産の永続的な保全やそれを活用した観光、地域づくりを实践・提案するとともに、各種の共同事業を実施していくことをその目的とする。

第4条 (公告)

当法人の公告は、電子公告(<http://www.worldheritagejpn.com/>)の方法により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第2章 社員

第5条（入社）

- 1 当法人は、その目的に賛同し入社した、世界文化遺産を有する日本の市町村長や特別区長、世界文化遺産・地域づくり・観光・地域連携などにかかわる専門家、地域リーダー、情報・観光関係者、行政スタッフなどを社員とする。
- 2 社員となるには、社員1名以上の推薦と社員総会での承認を得るものとする。
- 3 同一の企業グループ関係者、または三親等以内の親族からの社員は原則5名以内とする。

第6条（社員の資格喪失）

社員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- 1 退社したとき
- 2 成年被後見人または被保佐人になったとき
- 3 死亡し、もしくは失踪宣告を受け、または解散したとき
- 4 除名されたとき
- 5 社員総会における同意があったとき

第7条（退社）

社員は、いつでも退社することができる。ただし、1か月以上前に当法人に対して予告をするものとする。

第8条（除名）

当法人の社員が当法人の名誉を棄損、もしくは当法人の目的に反する行為をしたとき、または社員としての義務に違反したときは、社員総会の特別決議によりその社員を除名することができる。

第3章 社員総会

第9条（社員総会）

当法人の社員総会は、定時社員総会および臨時社員総会とし、定時社員総会は**毎事業年度の終了後3か月以内**に、臨時社員総会は必要に応じて開催する。

第10条（招集）

社員総会の招集は、代表理事が行う。招集通知は、会日より1か月前までに各社員に対して発する。

第11条（決議の方法）

社員総会の決議は、法令に特別の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が委任状を含め参加し、その過半数をもってこれを行う。

第12条（議決権）

各社員は、各1個の議決権を有する。

第13条（議長）

社員総会の議長は、代表理事がこれに当たる。代表理事に事故があるときは、当該社員総会で議長を選出する。

第14条（議事録）

社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に備え置く。

第15条（内部組織）

- 1 要望活動実施などを目的に、会の内部組織として、市町村・**特別区長会**を設置する。
- 2 社員は会の内部組織として、複数社員を構成メンバーとする研究会、プロジェクトチームなどを結成することができる。
- 3 研究会・プロジェクトチーム等、会に関係する組織結成にあたっては、活動開始前に代表理事、また活動開始後初回の社員総会にて承認を得るものとする。

第4章 役員

第16条（役員） 当法人に次の役員を置く。

- 1 理事：世界文化遺産を持つ市町村・特別区長および民間人若干名
- 2 代表理事：1名

第17条（任期）

- 1 **理事の任期**は、選任後2年以内の最終の事業年度に関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。
- 2 **理事**が、辞任等により定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

第18条（理事・職務権限）

- 1 理事は、社員総会の決議によって社員の中から選任する。
- 2 理事は、当法人に関する業務執行を行う。

第19条（代表理事・職務権限）

- 1 当法人は、代表理事1名を置き、理事の互選によって定める。
- 2 代表理事は、当法人を代表し、当法人の業務を統括する。

第5章 計算

第20条（事業年度）

当法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までの年1期とする。

第21条（事業計画および収支予算）

- 1 当法人の事業計画および収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに代表理事が作成し、直近の社員総会において承認を得るものとする。これを変更する場合も同様とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しない時は、代表理事は社員総会の議決に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。
- 3 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

第22条（剰余金の分配の禁止）

当法人の剰余金は、これを一切分配してはならない。当法人が解散（合併または破産による解散を除く）したときに残存する財産は、国や一定の公益的団体に贈与する。

（一社）「世界文化遺産」地域連携会議メンバー（平成30年8月6日）

顧問 松浦晃一郎(元・ユネスコ事務局長)

代表理事 門川大作(京都市長)

副代表理事 松井一實(広島市長) 仲川げん(奈良市長) 石見利勝(姫路市長)

大嶋一生(日光市長) 中西和夫(斑鳩町長)

理事 青木幸保(平泉町長)

榎本義法(富岡市長) 五十嵐清隆(伊勢崎市長) 新井雅博(藤岡市長)

原秀男(下仁田町長)

服部征夫(東京都台東区長)

堀内茂(富士吉田市長) 渡辺喜久男(富士河口湖町長) 望月幹也(身延町長)

高村文教(山中湖村長) 田辺信宏(静岡市長) 須藤秀忠(富士宮市長)

高村謙二(裾野市長) 若林洋平(御殿場市長)

小長井義正(富士市長) 込山正秀(小山町長)

成原茂(白川村長) 田中幹夫(南砺市長)

越直美(大津市長) 山本正(宇治市長)

加藤千速(東紀州地域振興公社理事長・尾鷲市長) 北岡篤(吉野町長)

車谷重高(天川村長) 真砂充敏(田辺市長) 堀順一郎(那智勝浦町長)

井本泰造(かつらぎ町長) 井澗誠(白浜町長)

眞野勝弘(廿日市市長)

楫野弘和(大田市長)

野田武則(釜石市長) 小野登志子(伊豆の国市長) 藤道健二(萩市長)

福田健次(中間市長) 秀島敏行(佐賀市長) 田上富久(長崎市長) 守田憲史(宇城市長)

森博幸(鹿児島市長)

伊豆美沙子(宗像市長) 原崎智仁(福津市長)

城間幹子(那覇市長) 島袋俊夫(うるま市長) 瑞慶覧長敏(南城市長)

喜屋武治樹(今帰仁村長) 浜田京介(中城村長) 新垣邦男(北中城村長)

石嶺傳實(読谷村長)

有川雄二郎(SAP代表) △

井戸智樹(歴史街道推進協議会) △

大社充(DMO推進機構代表理事)

熊倉浩靖(高崎商科大学特任教授・群馬テレビアドバイザー) △

島川崇(東洋大学国際地域学部国際観光学科教授) △

後藤治(工学院大学理事長・総合研究所教授)

花岡拓郎(海事歴史科学館<大和ミュージアム>学芸員) △

藤本貴也(全国街道交流会議代表幹事)

毛利和雄(歴史ジャーナリスト)(△:お世話役)

社員

朝廣佳子（読売奈良ライフ代表）、阿部尚久（姫路商工会議所産業振興部長）、安藤周治（ひろしまNPOセンター代表・NPOひろしまね理事長）、安藤登（NPO世界遺産アカデミー常務理事）、井植美奈子（井植インターナショナル代表：京都）、石丸美穂子（元・和歌山県上富田町観光コンシェルジュ）、糸永正之（アラスカ大フェアバンクス校特別顧問）、乾昌弘（明新社社長）、井上浩司（関西観光本部・JR西日本）、岩垣保（テレビマンユニオン 世界ふしぎ発見プロデューサー）

植木孝（ダイヤモンド・ビッグ社 インバウンド・国内担当編集長）、上野誠（奈良大学教授）、上村多恵子（京南倉庫社長）、内山裕紀子（くまの体験企画代表）、大島直行（伊達市噴火湾文化研究所長・札幌医科大学客員教授）、大國晴雄（前・大田市教育長）、大田原功（今帰仁グスクを学ぶ会理事長）、大野泰正（財・ラリーニッポン代表理事：岐阜）、大山耕介（月刊「歴史街道」編集長）、岡井健（NPO日光門前まちづくり理事長）

緒方修（NPOアジアクラブ理事長・東アジア共同体研究所 琉球・沖縄センター長：沖縄）、小野寺郁夫（小野寺設計室代表：平泉）、片上敏喜（日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科専任講師）、我如古則子（うるま市史跡ガイドの会会長）、上村大平（斑鳩商工会事務局長）、川崎阿久里（世界文化社第五編集局企画部）、木谷俊樹（読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」プロデューサー）、桐野耕一（長崎コンプラドール代表）、久遠裕子（株式会社ユニバーサルワーカーズ取締役、軍艦島コンシェルジュ・統括マネージャー、軍艦島デジタルミュージアム・プロデューサー）、久保美智代（旅する世界遺産研究家、アナウンサー・キャスター）

熊崎俊介（パム WEB マーケティング事業部 ディレクター）、小池秀明（NPO日光門前まちづくり事務局長）、小泉和子（フォーリン・プレスセンター広報戦略課長）、小松勇二郎（和歌山県観光ガイド専門員<紀州語り部>）、小六克介（世界遺産クラブ代表）、齊藤修（京都新聞ホールディングス顧問）、佐滝剛弘（京都光華女子大学キャリア形成学部教授・NPO産業観光学習館専務理事＝群馬）、沢田伸（ひょうご heritage 機構代表世話人）、澤田利彦（松蔭大学観光文化学部長）、塩見正成（大阪観光局魅力創造部長・JT B）

柴田聡（朝日放送報道局）、城之内ミサ（音楽家・ユネスコ平和芸術家）、白鳥哲也（まちづくりNPO沖縄イケメン連）、須藤元（ジェイキャスト顧問）、高橋一夫（近畿大教授）、高橋史郎（早稲田大学国際教養学部事務長）、高橋伸幸（ベストセラーズ「一個人」「歴史人」編集長）、竹田亨（日本航空地域活性化推進部長）、多田稔子（田辺市熊野ツーリズムビューロー会長）、多田みのり（歴史と旅のライター・奈良市観光使）

辰巳裕（NPO奈良好き人のつどい理事長）、田中恭一（社会福祉法人・中央共同募金会シニアアドバイザー）、田中俊徳（東京大学新領域創成科学研究課准教授）、谷博子（元JNTOソウル事務所長）、谷上嘉一（熊野川体感塾塾長）、玉城常邦（琉球新報社元・東京支社長）、長南哲生（日光世界遺産の会）、土居好江（一般社団法人京すずめ文化観光研究所理事長）、富井義夫（世界遺産写真家）、富岡哲也（交通新聞社情報事業部「トレたび」編集長）

富澤美津男（近畿日本ツーリスト 地域誘客事業部課長）、永井恵一（東洋大学国際観光学部産学連携人材育成プログラム開発チーム研究員）、永島宣彦（京都新聞COM社長）、中野秀俊（旅行読売営業企画部）、中村宇道（実業之日本社ブルーガイド編集部）、中村俊郎（中村ブレイス代表取締役会長：石見）、中村直美（交通新聞社広告事業部長、前「旅の手帖」編集長）、中山栄一郎（歴史と出会うまちづくり船場城西の会：姫路）、中山禎輝（旅のエッセイスト・元平城遷都1300年事業協会）、滑田教夫（京都旅企画代表・京都大学文学部講師・京都大学大学院文学研究科講師）

野添ちかこ（ライター）、野々村邦夫（日本地図センター理事長）、花井正光（NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会会長、元琉球大学教授）、羽生冬佳（立教大学准教授）、福井善朗（山陰インバウンド機構代表理事）、星幸男（ANA総合研究所地域・観光グループ総括主席研究員）、三島敏樹（白川郷・田島家養蚕展示館館長）、水田雅博（JR西日本営業本部観光開発課長）、三石学（熊野旅の文化企画代表）、皆川広一（神戸新聞事業社）

宮崎善且（富士宮市観光協会会長）、宮澤光（NPO世界遺産アカデミー主任研究員）、宮本早織（温泉研究家）、宗田好史（京都府大教授）、村上裕道（前・兵庫県文化財室長）、村田武一郎（帝塚山大教授）、矢野純一（フォーリン・プレスセンター 取材協力課長）、山岡孝典（ホテルグランヴィア大阪）、山上直子（サンケイ新聞文化部）、山内道美（今帰仁グスクを学ぶ会事務局長）

山本義史（吉野山旅館組合長）、吉新一郎（日光青年会議所理事長）、吉永憲（共同ピーアール）、和上豊子（石見銀山ガイドの会・前代表）、渡邊智彦（NPO遊悠舎京すずめ観光文化研究部長、東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻）

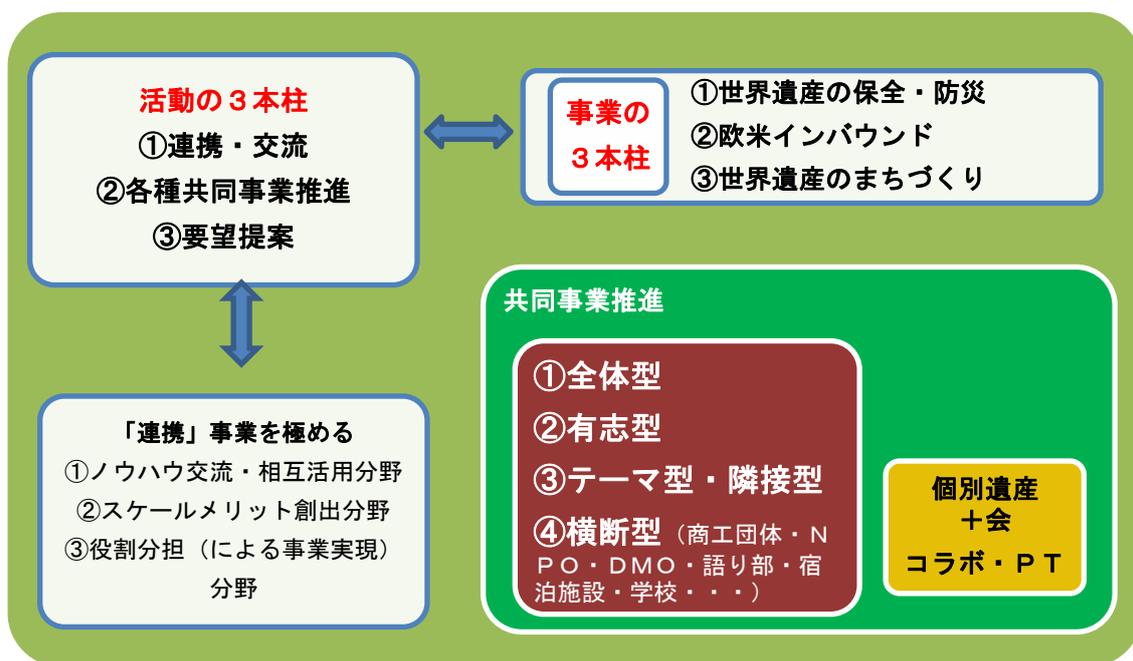
監 事

寺田昭一（PHP公共事業部コンサルティング事業部 シニア・コンサルタント）

(議案3) 当面の活動方針と平成30年度の活動

< 当面のレベルアップの方向性 >

1 連携の深化



⇒ 全体事業に加え、できれば全遺産と会で何らかの事業を！

2 3つの課題

- (1) 東京オリ・パラへの対応
- (2) ロビー機能の強化
⇒ 「世界遺産議連」ほかとのさらなる連携、
日常的ロビー活動の必要性
- (3) 活動財源の確保

平成30年度の活動

1 要望活動(8月6日)

- ・年間 2900 万人の外国人観光客がもたらしている経済効果は約 4・4 兆円
- ・外国人観光客に人気のスポットベスト 20 中 11 か所が世界文化遺産

⇒ 世界遺産の永続的保全や持続的活用に向けての現状は不十分

(1) 防災・減災対策

(2) 私権や開発圧力に対し、各地域が景観条例等の自助努力により辛うじて遺産やバッファゾーンを維持しているという問題

(3) 世界遺産に関わる財源・施策・省庁間連携の乏しさ

- ⇒
- ①世界遺産特別法
 - ②世界遺産リレー催事への支援
 - ③世界遺産のまちづくり
 - ④遺産別の現状報告と要望

※要望書「世界文化遺産の永続的保全と自足的活用を目指して」参照

時間	訪問先(8月2日現在)	場所
(13:00 -13:45)	(自由民主党 二階俊博 幹事長)	(自民党本部幹事長室)
14:00-14:15	世界遺産議員連盟顧問 河村建夫 衆議院議員	衆議院第二議員会館 302号室
14:30-14:45	国土交通省 森 昌文 事務次官	国土交通省事務次官室
15:00-15:15	観光庁 和田浩一 次長	観光庁
15:30-15:40	文化庁 中岡 司次長	文化庁

2 連携・交流の深化

(1)メーリングリストの継続

(2)総会・交流会・地域交流会等の開催

(3)「世界遺産サミット」の開催

第5回:姫路(平成30年11月21・22日)

第6回:日光(平成31年)

第7回:沖縄(平成32年:立候補表明中)

※1-4回は京都・和歌山・岩手・石見銀山

世界遺産サミットin姫路 概要(7月20日時点)

- 1 日程 平成30年(2018年)11月21日(水)・22日(木)
- 2 場所 イーグレひめじ(あいめっせホール・会議室)、日本城郭研究センター、姫路文学館
- 3 プログラム
 - (1) 11月21日(水)
 - 13:00 エクスカーションI(姫路城)
 - 15:30-17:30
 - 第1分科会(保全):平泉町・京都市・今帰仁村・姫路市ほか(調整中)
 - 第2分科会(西日本連携・インバウンド):広島市・廿日市市・大田市・萩市・姫路市(調整中)
 - 第3分科会(まちづくり・地域経済):岡井健(NPO日光門前まちづくり)、多田稔子(田辺市熊野TB)久遠裕子(軍艦島デジタルミュージアム)、斑鳩町商工会・富士宮市(調整中)
 - 18:00 担当者会議
 - 19:00 エクスカーションII(姫路城夜間公開イベント) ※22日でも参加可
 - (2) 11月22日(木)
 - 8:30-11:30 エクスカーションIII・IV(書写山圓教寺・船場城西地区)
 - 13:00-17:00 サミット本会議
 - 学生等事例発表・来賓挨拶等
 - 基調講演:門川会長(会と京都での取り組み)原田静織(ランドリーム代表取締役)
 - 分科会発表 首長会議 サミット宣言採択 次回開催地挨拶(日光市)
- 4 主催(予定) 姫路市、(公社)日本観光振興協会、「世界文化遺産」地域連携会議
後援(予定) 観光庁、文化庁、林野庁、環境省

3 遺産ごとの課題解消

(1)紀伊山地の霊場と参詣道PT

- ① 姉妹遺産である「サンチアゴ・デ・コンポステーラ」とコラボし、
スペインにて「紀伊山地の霊場と参詣道」セミナー
- ② 昨年度実施の「紀伊山地の霊場と参詣道」東京シンポジウム内容を10言語化
- ③ 外国語ガイドブック・MAP等の増補(熊野古道小辺路・高野山関係)
- ④ 紀伊半島全域の(世界遺産指定)「参詣道」における外国表示不足箇所の調査

(2)石見銀山PT

- ① 外国語資料の作成
- ② JR大阪駅等のデジタルサイネージにおける「西日本の世界遺産」
(石見銀山・原爆ドーム・厳島神社・萩・姫路城)連携広告

(3)斑鳩PT

- ① 外国語資料の作成
- ② 聖徳太子絵本(ガイドブック)の作成
- ③ 東京における連続フォーラム(H31・32年度における多言語HP化を予定)

日程	会場	講師	テーマ
8月18日 (土)	日比谷情報図書館(日比谷コンベンションホール)	井ノ上妙康 (法輪寺住職)	聖徳太子の歴史つみかさなる斑鳩の里
10月20日 (土)	朝日JTB・交流文化塾 (ACC新宿教室)	大野玄妙 (法隆寺管長)	聖徳太子と法隆寺
11月17日 (土)	日比谷情報図書館 (Studio+)	横田丈実(浄念寺住職・映画監督)	映画監督が見た斑鳩の風景
1月19日 (土)	日比谷情報図書館 (Studio+)	坪岡徹(デザイナー: わたしだけの斑鳩時間・挿絵)	瓦が語る法隆寺
2月16日 (土)	日本橋社会教育会館ホール	小川三夫(鶴工舎 宮大工棟梁)	木の命、木の心 ~技を伝え、人を育てる~

4 世界遺産共同事業による欧米インバウンド事業

オリ・パラ年における「世界遺産リレー催事」を検討(以下は現在までの経過)

●東京オリ・パラが開催される2020年前後は、日本が世界の耳目を集めることができる千載一遇のチャンス。この機会を捉え、できるだけ多くの世界文化遺産関係地で「関連催事」を実施。それをラインアップ化し共同で発信すれば、各遺産は勿論、日本の魅力を広く世界に伝えて行くことができるのではないか、というアイデアが平成29年度総会場で出された。このアイデアにつき、2017年秋に各地域の担当者アンケートをとった所、こうしたことを会として実施あるいは検討していくことに対し、「参加したい」「関心がある」と回答された地域が一定数あることが分かった。

●その実現可能性をもう少し深掘りし、あわよくば外部(例:観光庁・文化庁・メディア・スポンサー???)にも賛同の輪を拡げていくために、「各地域無理のない範囲でどのくらいのことができそうか」を基本に(希望的観測も含めた)「全体イメージ」につきとりまとめた。

●各遺産ごとのイベントはできるだけ「世界のメディアが注目しておかしくないもの」に限定。幸いにも、多くの地域にはすでに世界遺産を舞台とする通年事業(宗教行事、プロジェクトマップ等)のイベント)や一定規模の事業経験(記念事業、世界遺産劇場、世界遺産トーチラン・コンサートなど)がある。

また2020年には世界遺産登録から白川郷・五箇山が25周年、琉球王国のグスク及び関連遺産群が20周年、明治日本の産業革命遺産が世界遺産登録5周年。またその前年には京都が25周年、日光20周年、紀伊山地の霊場と参詣道15周年、富岡製糸場と絹産業遺産群が5周年を迎える。

これらをうまくリンクさせれば、国際的にも魅力あるラインアップ形成が可能ではないか?

●ただし、こうした試みを実現に向かわせるに際し、残された時間はそう時間は多くない。

スケジュール的には、

- ①2018年度の総会・サミットでの議論・申し合わせ
 - ②2019年春までに概要確定
 - ③資料策定
 - ④2019年度総会時に外国人特派員クラブ等で発表
- といった形を想定しておく必要がある。

ラインアップ・イメージ

① すでに構想されている催事

「世界文化遺産」リレー催事(イメージ)	
2019・10	アクアリウム城(二条城) 世界遺産サミット(日光)
11	↓
12	↓
2020・1	カウント・ダウン・イベント(姫路城?)
2	
3	
4	世界遺産桜リレー(葦山反射炉ほか)
5	GW各地イベント?
6	
7	(上野公園イベント?)
8	↓
9	↓
10	世界遺産サミット(沖縄)



② 年中行事・記念日など

「世界文化遺産」リレー催事(イメージ)	
2019・10	アクアリウム城(二条城) 世界遺産サミット(日光)
11	↓ 白川郷一斉放水
12	↓
2020・1	カウント・ダウン・イベント(姫路城?)
2	富士山の日(2月23日)
3	(3・11:岩手?)
4	世界遺産桜リレー(葦山反射炉ほか)
5	GW各地イベント
6	
7	(上野公園イベント?)
8	↓ 原爆の日(広島・長崎)
9	↓
10	世界遺産サミット(沖縄)



③ 登録記念年を迎える遺産（2019）

「世界文化遺産」リレー催事(イメージ)				
2019・10	アクアリウム城(二条城) 世界遺産サミット(日光)	富岡 5周年 紀伊山地 15周年 日光 20周年 京都 25周年		
11 ↓	白川郷一斉放水			
12 ↓				
2020・1	カウント・ダウン・イベント(姫路城?)			
2	富士山の日(2月23日)			
3	(3・11:岩手?)			
4	世界遺産桜リレー(葦山反射炉ほか)			
5	GW各地イベント			
6				
7	(上野公園イベント?)			
8 ↓	原爆の日(広島・長崎)			
9 ↓				
10	世界遺産サミット(沖縄)			

④ 登録記念年を迎える遺産（2020）

「世界文化遺産」リレー催事(イメージ)				
2019・10	アクアリウム城(二条城) 世界遺産サミット(日光)	富岡 5周年 紀伊山地 15周年 日光 20周年 京都 25周年		
11 ↓	白川郷一斉放水			
12 ↓				
2020・1	カウント・ダウン・イベント(姫路城?)			
2	富士山の日(2月23日)			
3	(3・11:岩手?)			
4	世界遺産桜リレー(葦山反射炉ほか)		明治日本 5周年	
5	GW各地イベント			
6			琉球王国 20周年	
7	(上野公園イベント?)			
8 ↓	原爆の日(広島・長崎)			白川郷 五箇山 25周年
9 ↓				
10	世界遺産サミット(沖縄)			

⑤ 宗教行事、伝統芸能、既存の世界遺産関連イベントなど

すでに各地で実施されている世界遺産関連イベントの例



白糸の滝
ライトアップ



奈良
燈花会



世界遺産
トーチ・ラン



世界遺産
劇場

宗教関連行事・伝統芸能の例



上：熊野本宮大社、宗像大社、富士山山開き（浅間大社）

下：法隆寺秘宝展、石見神楽、藤原まつり（平泉）

⑥ イメージのまとめ

予定中の催事・記念日	記念年	宗教行事ほか	
2019・10 世界遺産サミット(日光)	富岡 5周年 紀伊山地 15周年 日光 20周年 京都 25周年	宗像大社例大祭	
11 白川郷一斉放水		(世界遺産コンサート)	
12 アクアリウム城(二条城:11月から)		(潜伏キリシタン関係)	
2020・1 カウント・ダウン・イベント(姫路城?)		(石見神楽)	
2 富士山の日(2月23日)			
3 (3・11:岩手?)		法隆寺秘宝展(5月迄)	
4 世界遺産桜リレー		熊野本宮大社例大祭	
5 GW各地イベント			
6		(世界遺産コンサート)	
⑦ (上野公園イベント?)		琉球王国 20周年	祇園祭
⑧ ↓ 原爆の日(広島・長崎)		白川郷 五箇山 25周年	管絃祭(厳島神社) 東大寺万灯供養
⑨ ↓			(世界遺産コンサート)
10 世界遺産サミット(沖縄)			

⑦ 「世界文化遺産」リレー催事(申し合わせ:案)

「世界文化遺産」リレー催事(申し合わせ:案)
1 各地域の参加はあくまで任意とする。
2 平成30年度内に最小12行事(各遺産0-1・各月1)、最大32(夏季五輪回数:各遺産0-3)行事の範囲内で「ラインアップ」調整をおこなう。
3 ラインアップされる催事割合は 新規催事や記念行事:既存催事のバージョンアップ:宗教行事等=1:1:1 程度をイメージする。
4 周年記念行事・桜リレーやGWを除く催事や宗教行事(各遺産0-1)は 「世界遺産に直接関係」し 「世界のメディアの関心を集めるに相応しいもの」を原則とする。
5 おおまかなスケジュール 平成30年総会にて申し合わせ →同年サミット時期までに中間調整(サミット時に事務方会議?) →会議31年度総会にて内容確定 →最低限の広報活動として五輪組織委員会・文化庁・観光庁等との連携の下、 インターネット、外国人記者クラブ、政府観光局海外事務所等での発信を想定する。

5 その他

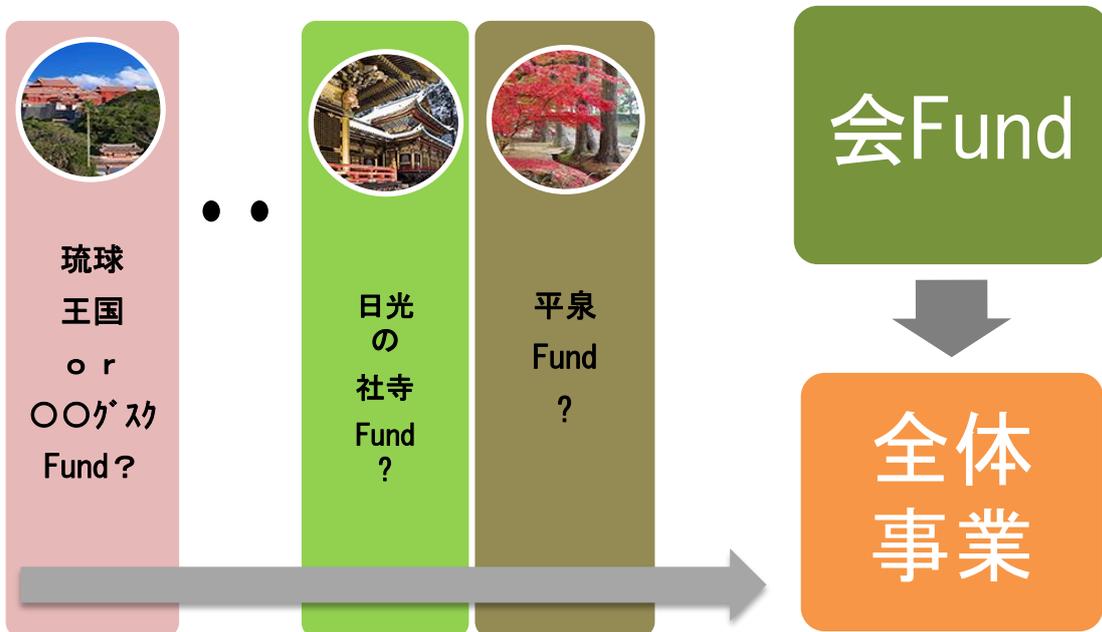
(1) インターネットの大幅改訂
(リレー催事への対応+前回以降に新規登録3件)

(2) 資金獲得の一つとして「クラウド・ファンディング」を検討

A案: 会の活動全体を支援

B案: 遺産別の基金や事業費
⇒ ファンドから遺産別の基金や事業費
+ 一定割合(15-20%)を全体事業や会運営に

C案 = A案 + B案 (もしくはA案 → B案)



(議案4)平成30年度予算

1 収入の部(単位・円)

項目	平成30年度 予算額	前年度 予算額	前年度 決算額	備考
① 市町村長 会費	1,150,000	1,130,000	1,140,000	
② 事業収入 ・紀伊山地 PT ・石見銀山 PT ・斑鳩 PT	26,637,000 (15,670,000) (3,002,000) (7,965,000)	10,720,000 (10,720,000) (0) (0)	9,825,313 (9,825,313) (0) (0)	文化庁 「世界遺産活性化」 事業
③ 交流会費	240,000	240,000	330,000	1 回開催(東京)
④ 寄付金	0	0	2,549,285	
⑤ 利息	0	20	24	
⑥ 繰越金	4,710,577	2,812,645	2,812,645	
収入計	32,737,577	14,902,645	16,657,263	

2 支出の部(単位・円)

項目	平成30年度 予算額	前年度 予算額	前年度 決算額	備考
1 要望活動費	200,000	200,000	182,606	収入の部①に対応 冊子作成、ハイヤー代等
2 会議費 ・総会 ・交流会 ・その他	750,000 (350,000) (300,000) (100,000)	650,000 (350,000) (300,000) (0)	884,900 (362,648) (445,832) (76,420)	(収入の部①に対応) (収入の部③に対応) (PT運営費:収入の部 ④⑥に対応)
3 イベント費	200,000	200,000	217,601	収入の部①②に対応 世界遺産サミット等
4 広報費 ・HP ・その他	2,000,000 (1,500,000) (500,000)	300,000	171,994 (7,642) (164,352)	収入の部①⑥に対応
5 事業推進費 ・紀伊山地 PT ・石見銀山 PT ・斑鳩 PT	26,637,000 (15,670,000) (3,002,000) (7,965,000)	10,720,000 (10,720,000) (0) (0)	9,825,313 (9,825,313) (0) (0)	収入の部②に対応
6 調査研究費	20,000	20,000	9,150	収入の部①④⑥対応
7 旅費交通費	550,000	500,000	523,436	収入の部①④⑥対応
8 通信費	40,000	40,000	42,650	収入の部①に対応
9 消耗品費	20,000	20,000	76,076	同
10 事務雑費	150,000	180,000	12,960	同、法人化関係費用
支出予算計	30,567,000	12,830,000	11,946,686	
次年度繰越 金	2,170,577	2,072,645	4,710,577	
総計	32,737,577	14,902,645	16,657,263	

参考：「リレー催事」に関する各遺産ごとの事業可能性調査

※参加意向は平成29年秋アンケート時点でのもの

(○参加したい △関心がある ▲現時点では何とも言えない ×参加しない 空欄：未回答)

遺産名	参加意向	(2018・6時点) アンケート+関係者ヒアリングより
姫路城	○姫路市	毎年秋に姫路城を舞台にした夜間公開イベントを実施している。また春や秋に観桜会、観月会も開催している。これらをグレードアップし、プロジェクション・マッピングを併設していくことなどが考えられる。
法隆寺	▲斑鳩町	法隆寺秘宝展が春・秋に開催されている。また、五輪翌年の2021年が聖徳太子没後1400年にあたるため、奈良県などが2020年にイベントを予定しているが、概要自体がまだ決まっていない。
京都	○京都市 ▲大津市	2019年が登録25周年年度になるので、一部合致する事業ができる可能性はある。 例えば3月の二条城桜まつり(桜のライトアップ+プロジェクション・マッピング)をバージョンアップするなど。以外には奇数年の秋に実施している「アート・アクアリウム城」の実施時期を工夫することも考えられるかも知れない。
白川郷		2020年が登録25周年だが、具体的にはまだ何かやるかどうかについて検討がされていない。 一方で「絵になる」行事として、秋の白川郷一斉放水がある。しかしこれもあくまで地域防災行事。大変な混雑になるため、日程は寸前まで非公表なのが通例になっている。
原爆ドーム	▲広島市	登録20周年観光キャンペーンとして県や廿日市市とともに多彩なイベントが展開されたが、五輪開催中の原爆の日(8月6日)には世界の耳目が広島に集まることが確実なので、むしろ特別なイベントを考える必要はないかもしれない。
厳島神社	▲廿日市市	祭事として「管絃祭」など。加えて、登録20周年事業の一環で「厳島神社宝物名品展」「表参道商店街“あかり”」スタンプラリーなどが実施された。また「世界遺産劇場」を2013・2015年に開催(坂本真綾、クリス・ハート)。こうしたものの再現可能性は？
奈良		2017に平城宮跡国営公園がオープンし熱気球等多彩なイベントを展開している。年間のメインイベントを冠事業にできないか要・相談。 以外に8月中旬に諸行事が集中する時期(春日大社万燈籠・東大寺万灯供養・奈良送り火・なら燈花会・ライトアッププロムナード奈良)があり、こうしたことを観光的に売り出したい意向もある。
日光		東照宮の例大祭は5月中旬。また、JRのディスティネーション・キャンペーン以降、GWに東照宮のライトアップが始まっている。201

		<p>7年・15年には東照宮で「世界遺産劇場」が開催された（市川海老蔵、May. Jほか）。</p> <p>2019年が登録20周年。「サミット」開催に加え、記念事業に「まち歩き」「マルシェ」などの民間イベントが重なり合えば面白いが・・・。</p>
琉球王国	<p>△南城市</p> <p>△北中城村</p>	<p>2020年が登録20周年にあたる。「サミット」開催に加え、そのメインイベントを「冠事業」にできないか？</p> <p>中城城跡では2016・15・14にJTB「世界遺産劇場」（山崎まさよしほか）</p>
紀伊山地	<p>▲かつらぎ町</p> <p>▲白浜町</p>	<p>各地でウォークイベントなどが盛んに開催されているものの、広域三県に及ぶため、全体として何かを実施することが困難な情勢にある。</p> <p>2019年度が登録15周年なので和歌山県ではミニD.C的なものの実施アイデアがあるものの、詳細はこれから。1-3月に何か目玉事業（例：2015年の高野山での世界遺産劇場MISHA）の再現などがあれば・・・。</p> <p>一方で宗教行事は多数。4月中旬の熊野本宮大社例大祭など。</p>
石見銀山	△大田市	<p>2014-18の5か年で世界遺産登録10周年事業を実施。また「世界遺産サミット」で披露された石見神楽は近くハリウッド・デビューを果たす。こうしたものの活用や、文化庁「世界遺産活性化事業」関係などで何かできればよいが・・・。</p>
平泉	▲平泉町	<p>平泉世界遺産祭（県行事）が2016に開催されたが、継続は未定。</p> <p>代表的祭事として藤原まつり。また2011年には城之内ミサさんによる「世界遺産トーチラン・コンサート」、2014・17には「世界遺産劇場」（市川猿之助、ゴスペラーズほか）が開催されている。</p> <p>催事が西に偏らないためにも、祭事や五輪にあわせた東北復興関連イベントなど含め何かあればいいが・・・。</p>
富士山	<p>△富士市</p> <p>△富士宮市</p> <p>△富士吉田市</p> <p>△山中湖村</p> <p>▲静岡市</p> <p>▲御殿場市</p> <p>▲裾野市</p> <p>▲身延町</p>	<p>三保松原感謝祭（静岡市）、富士山かぐや姫ミュージアム（富士市）、白糸の滝ライトアップイベント（富士宮市）、ウルトラトレイル・マウントフジ（富士市・身延町ほか）、以外にも登山道を歩くイベント（裾野市ほか）や富士五湖のクリーン作戦（山中湖村ほか）などの実施経験がある。また、2020年に向け世界遺産を活用した文化プログラムを検討中の富士吉田市のような例もある。2013年には「世界遺産劇場」（郷ひろみほか）も開催。</p> <p>だが、広域に及ぶため、今回の核としては各地別のイベントではなく、富士山全域に関連するものの方が望ましいかもしれない。</p> <p>富士山開山祭（浅間神社・久須志神社：7月10日）や富士山の日（2月23日）にちなむイベント、山梨・静岡の世界遺産センターの2020目玉事業、あるいはイベント内容の偏りをなくすためあえて「富士山すその野ぐるり1周ツアー」（クラブツーリズムほか）といった旅シリーズをこれに充てるなど。</p>

富岡	△藤岡市 ▲伊勢崎市	富岡製糸場では2011年に世界遺産劇場（ゴズペラーズ）。 藤岡市では2016年にシルクカントリー群馬「絹の国サミット in 藤岡」、伊勢崎市では毎年6月に地元住民主体による世界遺産登記記念イベント、また2017年12月には上毛新聞社による世界遺産PRイベントなど開催されている。 2019年度が登録5周年年度なので、そのメインイベント的なものを「冠事業」に位置づけられれば理想的。
明治日本	○伊豆の国市 △釜石市 △萩市 △長崎市 △鹿児島市 ▲宇城市	長崎が五輪閉会式日（8月9日）に原爆の日。また、2020年が登録5周年にあたり、そのメイン事業があればよいが、シリアル・ノミネーションであり全体で何かを実施するのは大変か？ 登録以降、各地で様々なイベント（例：葦山反射炉ライトアップ、世界遺産劇場・鹿児島仙巖館・MISHA）やシンポジウム（釜石・萩・長崎など）、構成資産ごと記念行事（例：「旧鹿児島紡績所技師館」創建150年：2017）などが実施されており、これらの中から登録5周年の目玉となるものを「冠事業」にするような形か？
国立西洋美術館	△台東区	2016年10月に区主催で国立西洋美術館世界遺産登録記念フェスティバル（上野公園 台東区主催）、同年11月に上野ワールドヘリテイジフェス2016（上野公園 地元商店街主催）を開催。いずれも登録記念事業で行ったものであり、同規模のもの開催は困難。 2018年11月に世界遺産トーチラン・コンサートを開催予定（東京文化会館 台東区主催）。 オリ・パラ開催時に関しては、上野公園でパブリックビューイングの開催が予想されるため、これにあわせた事業の実施を検討する。 西洋美術館でのプロジェクション・マッピングは、運営上は実施可能であるが、映像の中身や費用負担などの課題が考えられる。
沖ノ島		宗像大社秋の例大祭（田島放生会：10月）などの祭事
潜伏キリシタン		

以上などより最低12の関連イベントが各月ごとに出そろえば、ラインアップの形成が可能になります。